

編集後記

コロナ禍からのゆりかえして出張ラッシュの真最中。名古屋(集中講義)、名古屋(学会)、新潟(国際会議)、相模原(衛星の設計会議)、一週間はさんで富山(学会)。この後また一週間はさんで岐阜(共同研究)へ行く予定である。長女からは、オンラインで会議に参加できるんじゃないの、といういまどきの正論をくらいながら出張を続けている。私はそこまで社交的ではないので、対面だからといって会話が弾む方でもないし、新しい知り合いを積極的に作ろうとする方でもないが、やはり対面会議の方がよい。自分に何らかのインプットをしないと、普段やっているプロジェクトの仕事も研究もアイデアと熱意が枯渇してアウトプットができない気がしているからである。インプットとは色々なものがあり、国際会議で新しい観測データや数値シミュレーションに刺激を受けて次はこういう研究をしてみたいというアイデアが湧いてくることはもちろんのこと、取り組んでいるプロジェクトの状況について情報共有したり、共同開発している相手がどれくらい装置の中身をわかっているのか顔色を見ながら

会話をしたり、もう少し広く日本の学術の状況について意見交換して危機感を募らせたり、また、現地の美味しい料理とお酒の助けも借りながら、久しぶりに会う知り合いと家族の近況を話したり、学生たちとややプライベートな話をするのもオンライン会議ではできない貴重なインプットであった。新潟で日本酒の豊かなバリエーションを堪能できたのは素晴らしかった。私の出張は家族の理解のうえに成り立っているので、お土産を考えるのも出張の楽しみの一つである。富山出張ではまず寿司をお土産にしたところ6歳の次女には好評でした。出張先でも、いつものオンライン会議ができてしまうので、完全な非日常にすることはできないが、インプットを増やすことはできた。この編集後記も、オフィスにとじこもっていたらネタに困っていたことだろう。インプットしたらアウトプットをしないといけないので、プロジェクトのレビューに向けた文書づくりと研究の論文書きでアウトプットし尽くしたい。そうして1ヶ月半後のスペイン出張でまたインプットしたい。

(勝川行雄)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：安藤 晃
副 会 長：上田良夫 花田磨砂也(男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治(総務委員長)
理 事：渥美寿雄(企画展示検討委員長) 出射 浩(編集委員長、支部・地区研究連絡会委員長)
井 通暁 大勢持光一(財務委員長) 大原 渡(企画委員長) 金子俊郎(年会運営委員長)
村上 泉(推薦委員長：研究助成) 横峯健彦(推薦委員長：学会賞)
居田克巳(研究部会委員長) 兒玉了祐(広報委員長) 白藤 立
仙波智行 田中康規 林 伸彦 藤田隆明
監 事：前田達志 立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：出射 浩(九大) 副委員長：村上 泉(核融合研)
エディタ：稲垣 滋(京大)、古閑一憲(九大)、重森啓介(阪大)、高橋裕己(核融合研)、石澤明宏(京大)、大矢恭久(静岡大)
編集委員：伊神弘恵(核融合研)、池田善久(愛媛大)、市原大輔(名大)、宇藤裕康(量研)、岡本征晃(石川高専)、大宅 諒(九大)、恩地拓己(九大)、勝川行雄(国立天文台)、川手朋子(核融合研)、川面洋平(東北大)、小島完興(量研)、小林達哉(核融合研)、佐々木渉太(東北大)、佐野孝好(阪大レーザー研)、神藤勝啓(原子力機構)、關 良輔(核融合研)、高橋宏幸(東北大)、竹崎太智(富山大)、田中 学(九大)、富田健太郎(北海道大)、中村 誠(Helical Fusion)、中野治久(核融合研)、針谷 達(豊橋技科大)、皇甫度均(筑波大)、福本正勝(量研)、古川武留(神戸大)、森田大樹(宇都宮大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第99巻第11号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2023年(令和5年)11月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。